

【2026年7月3日】

送付枚数 本票含め4枚

報道機関 各位

＼山口から医療の未来を変える／
経済産業省事業による新産業創出拠点
『山口ディープレック産業イノベ・リノベハブ』始動！
キックオフフォーラムを開催

国立大学法人山口大学（学長：谷澤幸生）は、地域の活性化と新産業創出を目指し、経済産業省令和6年度補正予算「地域大学のインキュベーション・産学融合拠点の整備」事業として、常盤キャンパス及び小串キャンパスに新拠点『山口ディープレック産業イノベ・リノベハブ』オープンラボ（ラボリエ Labo Lien）を新設しました。

これに伴い、本拠点の本格始動を広く発信する「キックオフフォーラム」を下記のとおり7月6日（月）に開催いたします。

本取組は、世界的な潮流である動物実験代替法「NAMs (New Approach Methodologies)」と、本学の細胞デザイン医科学研究所（所長：玉田耕治）が強みを持つ「細胞デザイン技術」を融合させ、山口から次世代医療技術の品質と安全の新たなルールを世界へ発信していく一大プロジェクトです。なお、本フォーラムを皮切りに、7月25日（土）には最先端医療技術の未来を議論する「細胞デザイン医科学研究所シンポジウム」も連動開催いたします。

つきましては、広くご周知いただきますとともに、取材及び報道等についてご高配賜りますようお願い申し上げます。

なお、当日の取材をご希望の方は、事前に「お問い合わせ先」までご連絡ください。

記

山口ディープレック産業イノベ・リノベハブ キックオフフォーラム開催概要

日 時：令和8年7月6日（月） 13:30～17:10

場 所：山口大学常盤キャンパス、小串キャンパス

（2拠点同時開催・施設見学会あり）

参加費：無料

プログラム：別紙参照

■ 背景と狙い：なぜ、いま「山口」なのか？

山口県内における就業者数や総生産の活性化という地域課題に対し、山口大学は独自の「ディープテック（高度な科学技術）」を核とした持続可能な産学連携モデルの確立に挑みます。

特に小串キャンパス（医学系）では、本学が培ってきた細胞治療技術、ゲノム編集技術を集約化した「細胞デザイン医科学研究所」にて、近年、創薬研究において注目を集める生体模倣システム（MPS）と本学の「細胞デザイン技術」を融合することで、新薬の薬効及び安全性を科学的に評価・担保する「レギュラトリーサイエンス」の推進機能を強化に取り組みます。これにより、革新的な創薬シーズをいち早く安全に社会へ届ける体制が山口の地に誕生します。

■ 本リリースのまとめ

1. 山口から世界へ！新拠点『山口ディープテック産業イノベ・リノベハブ』が始動
イノベーション（新産業創出）とリノベーション（既存産業の高度化）のハブとして、スタートアップ支援や革新的デザイン医療技術のオープンラボを構築。
2. 7月6日（月）に経済産業省・中国経済産業局・宇部市より来賓をお招きするキックオフフォーラムを開催
常盤・小串の両キャンパスを会場に、新施設のリアルな見学会や入居企業によるショートピッチを実施。
3. 【連動企画】7月25日（土）には「細胞デザイン×レギュラトリーサイエンス」シンポジウムも開催予定
医薬品開発における動物実験に代わる新たな安全性評価方法（NAMs）の世界潮流を捉え、次世代医療のルール構築に挑む最前線を議論します。なお、本シンポジウムの詳細なプログラムや取材要領につきましては、改めて別途ご案内を差し上げる予定です。

●お問い合わせ先

山口大学学術研究部ライフサイエンス支援課
TEL：0836-85-3293
E-mail：sh056@yamaguchi-u.ac.jp

発信者 国立大学法人山口大学総務部
総務課広報室

〒753-8511 山口市吉田 1677-1
TEL：083-933-5007
FAX：083-933-5013
E-mail：sh011@yamaguchi-u.ac.jp

経済産業省 令和6年度補正予算 地域大学のインキュベーション・産学融合拠点の整備

山口ディープテック産業 イノベ・リノベハブ キックオフフォーラム

産学ハブ共創ハブ、いよいよ始動

山口発のディープテックが地域産業の

「イノベーション（新創出）」と

「リノベーション（既存産業の高度化）」を加速させます。

2026.7.6 (月) 13:30-17:10

【会場】

山口大学常盤キャンパス 大学研究推進機構ビジネス・インキュベーション棟1階
「志」イノベーション道場（宇部市常盤台2丁目16-1）
山口大学小串キャンパス 臨床実験施設（宇部市南小串1丁目1-1）



【お問い合わせ】

山口大学学術研究部ライフサイエンス支援課

☎ 0836-85-3293

✉ sh056@yamaguchi-u.ac.jp



山口ディープテック産業 イノベ・リノベハブとは？

山口県の地域課題である「就業者数及び県内総生産の伸び率の低下」を克服し、地域経済の活性化を目的に、常盤キャンパス及び小串キャンパスに新たな拠点として『山口ディープテック産業イノベ・リノベハブ』を新設しました。

新産業創出（イノベーション）と既存の産業の高度化（リノベーション）との両面を強化するため、以下の活動に重点を置き取り組みます。

- ・大学発スタートアップの創出・成長を支援する機能整備
- ・スタートアップ・新規事業創出のためのインキュベーション施設の増設
- ・革新的デザイン医療技術の遺伝子・動物実験が可能なオープンラボの構築

常盤キャンパス及び小串キャンパスが所在する宇部市と連携し、地域の新たな産業価値を創出し、地域経済の活性化と雇用創出を実現する持続可能な産学連携モデルの確立を目指します。



13:30-13:35

開会挨拶

谷澤 幸生 山口大学 学長

13:35-13:50

来賓祝辞

秦 佑輔 経済産業省イノベーション・環境局
大学連携推進室 室長補佐

林 揚哲 中国経済産業局 局長

篠崎 圭二 宇部市 市長

13:50-14:00

事業概要説明

佐藤 晃一 山口大学 理事、学術研究・産学連携担当副学長
大学研究推進機構 機構長

14:00-14:15

常盤ラボリエ入居企業ショートピッチ

河田 祐二 株式会社エヌエフホールディングス
NF技術研究所副所長

熊谷 聖司 デジタルデータソリューション株式会社
代表取締役社長

赤田 倫治 ヘリックスエクステンション株式会社
技術取締役

14:15-14:20

小串・共創プロジェクトラボにおける取組紹介

森田 知佳 山口大学大学院医学系研究科／
細胞デザイン医科学研究所 助教

14:20-14:30

集合写真撮影

14:30-15:10

常盤地区ラボリエ施設見学会

15:10-15:40

移動（常盤キャンパス→小串キャンパス）

15:40-16:40

小串地区ラボリエ施設見学会

16:40-17:10

意見交換会・クロージング